

技術概要書（様式）

※別紙2

技術分類	安全・防災 維持管理 環境 コスト ICT <b>品質</b> (該当する分類に○を付けてください)		
技術名称	マッドミキサー工法	担当部署	営業部
NETIS登録番号	QS-980053-VR(MⅠ型) QS-980054-VR(MⅡ型)	担当者	諸江 仁志
社名等	マッドミキサー工法協会	電話番号	0954-23-7733
技術の概要	<p>1. 技術開発の背景及び契機</p> <p>建設分野においても、透明性高いトレーサビリティの実現と、高品質で安心できる技術を広めることが必要であり、社会の潮流もその動きになっています。</p> <p>そんな中、ICT(情報化施工技術)が進められていますが、多くのICTは、設計に対して施工表面を管理する内容が一般的です。本来、見えない部分になってしまう土中の処理工法や埋設・埋戻などを、管理していくことが必要だと考え、建設業のイメージさえも変えてしまうこの技術を是非、九州をはじめとする建設会社に知って頂き広めて行きたいと思っております。</p> <p>2. 技術の内容</p> <p>バックホウに超ロングブームアームと油圧回転式の特殊攪拌機(マッドミキサーM-Ⅰ型・マッドミキサーM-Ⅱ型)を装備し、軟弱土と固化材を連続的に機械混合し、土と固化材を化学反応させて、土質性状の安定と強度を高める工法です。</p> <p>また3段階のステップとして地盤改良管理装置・新噴射システム・品質管理システムと3つの新しい技術を取り入れることで、透明性の高いトレーサビリティが実現出来たことが最大の特徴です。</p> <p>3. 技術の効果</p> <p>&lt; 期待される効果 &gt;</p> <p>1.混合率の良さから早期に効果発現があり、工期が大幅に短縮できる。</p> <p>2.攪拌機で連続的に機会混合するので斑なく十分な攪拌効果が得られ、改良土のばらつきが少ない。</p> <p>3.粉体、スラリーなど広範囲に使用できる。</p> <p>4.超ロングブームアーム装着にて、作業半径が最大12m確保でき、離れた箇所からの施工可能。</p> <p>5.矢板内等の狭い作業場での細かい処理事業への対応も可能。</p> <p>6.3つのステップで高い品質と工期短縮を実現。</p> <p>4. 技術の適用範囲</p> <p>(施工場所) 構造物基礎、ため池改修、河川池改修、橋梁 等</p> <p>(改良深度) ・M-Ⅰ型 0.5m～2.0m ・M-Ⅱ型 2.0m～4.0m (スラリーの場合: 2.0m～8.0m)</p> <p>(適応地盤) 最大N≦10まで、粘性土や砂質土の地盤に適用可能</p> <p>5. 活用実績</p> <p>国の機関 366 件 (九州 366件、九州以外 0件 )</p> <p>自治体 1,452 件 (九州 1,442件、九州以外 10件 )</p> <p>民間 702 件 (九州 691件、九州以外 11件 )</p>		

6. 写真・図・表



NETIS登録 QS-980053-VR

マッドミキサー M-I 型  
H=0.5~2.0m

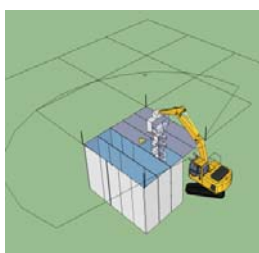


NETIS登録 QS-980054-VR

マッドミキサー M-II 型  
H=2.0~8.0m

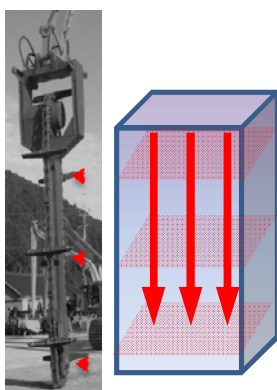
ステージ 1

施工管理装置  
(製品化)



ステージ 2

品質予測プログラム  
(開発完了)



ステージ 3

脈動噴射システム  
(試作・試行段階)

